

請願・陳情参考資料

平成22年2月18日、19日

教育委員会

陳情（新規）

受理番号 (受理年月日)	所管	件名及び提出者	現状と県の取組状況
22年-2 (22.11.25)	教育	平和教育の推進について 反核・平和の火リレー鳥取県 実行委員会	平和教育については、平和の尊さや戦争の悲惨さについて授業や特別活動をととして、次のとおり取り組んでいる。 【小中学校における取組】 小中学校においては、国語や社会、総合的な学習の時間といった各教科の中で平和教育に関する教材を使用した学習を行っている。 また、修学旅行における平和学習（広島・沖縄方面）では、調べ学習等による事前学習の後、資料館の見学や語り部の話を聞くといった現地学習、帰った後の発表や語り部へ手紙作成などの事後学習を行っている。 【高等学校における取組】 高等学校においては、地歴科や公民科の学習の中で、軍縮や核兵器廃絶、国際平和や国際貢献など平和教育に関する学習を行っている。

陳情（新規）

受理番号 (受理年月日)	所管	件名及び提出者	現状と県取組状況
22年-4 (22.2.10)	教育	鳥取県立倉吉東高等学校及び鳥取県立米子東高等学校に設置されている専攻科の存続に係る検討について 中部地区高等学校PTA連絡協議会 西部地区高等学校PTA連絡協議会	平成20年5月定例県議会決議を踏まえ、平成20年7月に教育委員会として以下の方針を決定 「倉吉東高等学校専攻科及び米子東高等学校専攻科は、平成21年度から2年間募集を継続する。その後の存廃については、県内の経済情勢、民間予備校の実績、生徒・保護者のニーズ及び県民の意向などを総合的に勘案し、平成22年までに判断する。」 今後、専攻科の平成21年度進路状況や平成22年度入学状況、民間予備校の実績など必要な情報を整理し、議会に報告した上で、議会の意見なども踏まえながら、判断することとしている。

陳情（新規）

受理番号 (受理年月日)	所管	件名及び提出者	現状と県の取組状況
22年-6 (22.2.10)	教育	高校生のための県独自の就学支援制度の創設について 鳥取県ゆきとどいた教育をすすめる会	本県では、従前から授業料減免制度と奨学金制度の併用を認めており、厳しい経済状況が続いていることから、申請者全員に奨学金を貸与することができるよう、十分な奨学生採用枠を準備することとしている。 事業名：育英奨学事業 新規採用枠：平成20年度 835名（採用実績 709名） 平成21年度 940名（採用実績 784名） 平成22年度 940名